

平担か隆起したり円錐状のものまであり、表面は平滑であったり隆起線を持つものもある。色彩は白色、灰色、黄色、褐色、暗褐色、黒色など変化が多い。雄の介殻は小さく板状か長形で淡色である。雌成虫の体環節は不明瞭で腹部の多くの環節は癒合し臀板を形成する。触角は欠くか痕跡的で、複眼と脚はなく、口吻は短い。雄は微小、無翅または有翅。触角はよく発達する。3対の偽単眼がある。尾糸は2本、尾突起は細長い。ツバキマルカイガラムシ (*Hemiberlesia rapax* (Comstock)) はアフリカ、アジア、オーストラリア、ヨーロッパに生息し、果樹害虫として各地で被害をあたえていて、チャンバカ、*Acacia*, *Aleurites*, *Cinnamomum*, *Grevillea*, *Lep-tospermum*, *Michelia*, *Schinus*, *Ulmus* などの樹木にも寄生する。蜜を分泌しないのでスス病はみられない。ウスイロマルカイガラムシ *Aspidiotus destructor* Signort は熱帯各地に生息し、ココナツ、バナナ、柑橘など農作物の害虫であるが、マンゴ、ケラット、ゴムノキ、クスノキの葉にも寄生する。葉の裏に密集した虫は黄色の斑点にみえる。雌虫は介殻の下に産卵する。孵化幼虫は少し移動するか、風によって他樹に分散する。雄は有翅である。*Aonidiella orientalis* Newstead はアフリカからマレーシアまでの熱帯各地に分布し、多食性で柑橘害虫として知られている。介殻は扁平ではぼ円形、直径 1.6 mm、黄色ないし赤褐色。マホガニー、シッソウ、タガヤサン、白檀、*Butea*, *Chloroxylon*, *Cocos*, *Cordia*, *Melia*, *Schleichera*, *Tamarindus*, *Zyzyphus*, その他の各種灌木や小径庭園樹の樹幹や枝に寄生し、時に葉、果実、種子にもつく。被害樹の葉は落ち、枝の先から枯れて生長が阻害されるが、幼木では枯れる。

## 新刊紹介

◎マレーシアの樹木 (H.F. CHIN and I.C. ENOCH: *Malaysian Trees in Colour*, pp. 180 (1988) Tropical Press Sdn. Bhd. 邦価約 6,900 円, Kuala Lumpur, (ISBN 967-73-0009-1, Malaysia)

本書は、マレーシアでみられる植栽木(果樹、竹を含む)を中心とする樹木の入門ガイドブックである。カラー写真と簡単な説明により約 130 種を、さらに写真抜きで約 20 種を紹介している。本書の構成は大まかには次のようになっている。概論・樹木・果樹・森林と造林地の樹木・ヤシとタケ・増殖・植栽と維持管理。欲をいえば、写真はもっと鮮明にして欲しかったが、マレーシアあるいは東南アジアを旅行される方には樹木を知るうえで役に立つものである。(及川洋征)